



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会 長/松 田 基
幹 事/荒 川 泰 士
会報委員長/星 野 努

創 立/昭和38年10月 2 日
例会日/水曜日 12：30～13：30
例会場/新ロイヤルホテル 四万十
事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F
TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553
●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2528

第2659回 平成30年 2月14日 (晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 東 邦彦会員

2月21日(水)：会員スピーチ 大杉 幹夫会員

2月28日(水)：ゲストスピーチ 四万十市国際交流員

【会長挨拶】 松田会長

- ・皆さん、こんにちは。寒さの厳しい日々が続いています。
- ・中国発のニュースで最初は驚き、やがて、怖くなる話。人工知能(AI)やインターネットを駆使した監視システム「天網工程」のことだ。14億人のデータベースと、全国各地の2千万台もの街頭カメラがその根拠をなしている。個人を識別する機能で、信号無視などの取り締まりや犯罪者の摘発に威力を発揮するそう。又、スマートフォンの位置情報や買い物の履歴、公園のトイレには顔認証でペーパーが出る仕組みまで導入されたと聞けば、空恐ろしくもなる。

「習近平国家主席の思想を憲法に書き込む」といったニュースを合わせて耳にすると、事態は正反対のようだ。政権にたてつく人物や予備軍をマークする目的が見え隠れする。

人間を労役から解放し、情報格差をなくすはずのAIやネットが、人の自由を縛りつつあるとみえる。歴代の王朝は国内の統治や思想の統制に知恵を絞ったが、今や電腦の宝刀を手にした新たな装いの国のようだ。世界の標準にならぬよう願う。

【幹事報告】 荒川幹事

- ・米山記念奨学会より1月の寄付傾向
- ・四万十RCよりIM 打ち上げ会のご案内 2/16 (金) 18：30～ ちきちん (回覧)
- ・中村特別支援学校より 地区補助金事業の「かまどベンチ」寄贈に対し、高知県より寄付受納書拝受 「趣旨を尊重し、有効に活用する」とのこと
- ・薬物乱用防止推進協議会より推進員の推薦 大杉幹夫会員から杉本一博会員へ変更
- ・理事会承認事項 矢野川侑平会員を細則サブカテゴリー第7条を適用し、正会員からサブ会員(ジュニア会員)への移籍を承認

【委員会報告・会員発言】 ◆白木財団委員長

- ・1名の方より寄付を頂きました。来月に入ったら個別に声掛けさせていただきます。全員100ドルに向けて、よろしく願います。



【本日のプログラム】 会員スピーチ 東 邦彦会員



皆さん、こんにちは。4年先になります。当クラブに対しましてのガバナー推薦に関し、経過の説明をしたいと思っております。

2022-23年度 高知県のガバナーの推薦を依頼された関パストガバナーは、幡多地区からという希望を持っておりました。幡多といえば我がクラブです。私たちのクラブはRC全国野球大会において2004年 優勝と全国に名が知れるクラブです。

2011-12年度、20年ぶりにIMを主管。成功を収め、高知のクラブに大きな影響を与えました。関さんはガバナーノミニという立場で参加しました。次年度、私はガバナー補佐で関さんはガバナーエレクト。その翌年、当クラブは50周年。大会の構成・演出・会員の皆様のご協力で見事なものとして評価されました。関さんはそのときガバナーでしたので、関さんの心の中に我がクラブが印象付けられたのは当然だろうと思っております。

そのあと、すぐに関さんよりガバナーの要請がありました。50周年が終わったばかりの会の皆さんに迷惑をかけれないとお断りし、当時会長の一藤さんも断ってくれました。その後、高知から柳澤ガバナーノミニの話聞いたときは、本当に安堵しました。

あれから4年、柳澤ガバナー公式訪問時に下話があり、関パストガバナーより幡多3クラブの会長幹事名で正式に次年度のガバナー推薦という要請がありました。宿毛RC、四万十RCは早々に選出不能を表明し、我がクラブ狙いとは最初から解っておりました。

家族との完全な調整が必要であり、年齢的にも不安な私ですが、ガバナー補佐経験者として手を上げざるを得ませんでした。しかしながら、ガバナーひとりでは何も出来ません。会員の皆様のご協力が必要になります。74クラブの公式訪問のほか、PETS、DTTS(地区協)、地区大会を開催しなければなりません。DTTSは950名、地区大会には2,000名が集まります。中村では開催できません。

協力を申し出てくれたのが、スポンサークラブの高知クラブです。

ベテラン会員の皆様には知恵を、これからクラブの中核になる若い会員の皆様には力をお貸し下さい。可能ならば新しい中村ロータリークラブが出来ると思っています。

◆大杉 幹夫 会員

東会員のガバナー要請について、これを受けることはクラブにとって、私は大変困難なことではないかと思っています。

今までの歴代の地区ガバナーをみても今治、鴨島以外のほとんどが県庁所在地のクラブから輩出されております。そんな中で、この経済規模も小さい当クラブから地区ガバナーを出し、高知市内のクラブに会場などの協力をして頂いても、年間行事をこなすことは大変なのではと思っております。

ただ、今回ガバナー候補申請には、地域及びクラブの活性化を目的としていると言われており、もしも当中村クラブからガバナーを擁立し2670地区の年間行事を遂行できたならば、四国では鴨島に次ぐ地方クラブの偉業となり、当クラブにとって大きな自信と実績が残ると思っております。観光面でも四万十市の大きな宣伝になるだろうと思っております。また、同じ規模の県内外地方の他クラブにも地域活性化のための大きな夢と希望を与えることになると思っております。中村RC創立55周年の大イベントになることでしょう。

さて、ガバナーとは、一体どんな人物が適任かは分かりませんが、東会員のよう、ガバナー補佐の経験を有し、ロータリー歴も長く、温厚な人物のガバナー候補の輩出ができる巡り合わせは、当クラブの近い将来にはなかなか来ないのではとも思っております。

しかし、いくら地域の活性化といっても、精神論だけでガバナーを輩出することは出来ません。各委員会、委員長、事務作業等、クラブ訪問、多くの課題があると思っております。ガバナーを受けるとすれば全員が一丸となって協力しないとできないと思っております。

最後に、当クラブの東会員が地区ガバナーの要請をされたことは、中村RCにとって大変な名誉で光栄な事だと思っております。

【出席報告】 ・会員総数50名 (免除会員4名)

・本日の出席/32名 71.11%

・先週の訂正 MU4 71.11%→80.00%